

本学の施設を活かした地域開放型演奏会の開催

関連キーワード: パイプオルガン・演奏会・レクチャーコンサート

研究内容

研究活動の一環として年一回、本学の礼拝堂、五橋押川記念館ホールを会場に、オルガンリサイタルを催している。本学教職員、学生、広く一般の方々を対象に、入場無料で開催(本学宗教音楽研究所主催)。以下のURLにて、2024年7月6日(土)開催「今井奈緒子オルガン演奏会」で配布したプログラム表紙、プログラム(曲目)、研究者自身による曲目解説を添付する。

https://drive.google.com/drive/folders/1zeFct5vAADJ9m_UC6ATuvcqAyNUf327E?usp=sharing

https://drive.google.com/drive/folders/1zeFct5vAADJ9m_UC6ATuvcqAyNUf327E?usp=sharing

共演者には仙台ゆかりの声楽家を起用、新進気鋭のトランペット奏者迎えた。前半ではG. F. ヘンデルのオルガン協奏曲(オルガン版: 今井編曲)、客演のソロ曲他を、後半では作曲家 坂本日菜氏に委嘱し、昨年11月に松本市民文化ホールにて初演したソプラノ・フリーゲルホルンとオルガンのための「詩編II」の再演をメインとした。オルガンのための優れた邦人作品を紹介していくことも指向したい。

土樋ラーハウザー記念礼拝堂、五橋押川記念館ホール、泉音楽堂それぞれのパイプオルガンの特長を活かし、作品研究、演奏、教育に資することを目指す。

研究者プロフィール

教養教育センター 教授 今井奈緒子

- ・オルガン
- ・キリスト教音楽の歴史と実践
- ・一社)日本オルガニスト協会(監事)
- ・日本オルガン研究会(会長)
- ・東京藝術大学、ドイツ国立フライブルク音楽大学オルガン科卒。1990～2006年東京藝術大学オルガン科非常勤講師。2004年～本学教養学部教授、大学オルガニスト。2003年～教養教育センター教授、現在に至る。



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

旧教養学部設立30周年(2019年)を契機とし、音楽教員として～音楽への招待～『時代の音』レクチャーコンサートシリーズを企画開催してきた(現在の主管は学長室政策支援IR 課)。2023年稼働した五橋キャンパス押川記念館ホールには、旧泉礼拝堂より移設されたパイプオルガンに加えフルコンサートピアノが備えられている。

今後は学内のみならず、啓発的な内容の音楽会、音楽鑑賞教室等、地域に貢献する活用が期待される。



2024年度『時代の音』
シリーズ 第1回
(7月13日開催)

研究者への連絡先

メールアドレス: nimai@mail.tohoku-gakuin.ac.jp